

我が国に多いがんに対する診療機能

記載の有無
※表紙①に反映されます

あり

病院名: 国家公務員共済組合連合会 大手前病院

期間: 平成26年9月1日現在

※原発巣に記載すること。

1. 肺がん

○: 専門とするがん ×: 診療を実施していないがん
※別紙5に入力した内容が反映されています。
※診療を実施していないがんについて、表の記載は不要

集学的治療・標準的治療の提供体制
○: あり ×: なし

当該疾患の診療を担当している 診療科名と医師数	治療の実施状況 (○: 実施可 / ×: 実施不可) / 昨年実績 (あり/なし) ※平成25年1月1日～12月31日								各診療科における当該疾患の治療の特色・患者さんへのメッセージなど	当該疾患の治療に関する内容が掲載されているページ				
	主な診療科名 (5診療科まで)	医師数	当該疾患を 専門として いる医師数	手術		化学療法	放射線療法			ページの見出しとアドレス ※トップページ以外を2つまで記載してください ※アドレスは、手入力せずにホームページからコピーしてください	掲載されている内容			
			開胸 手術	胸腔鏡 下手術		体外 照射	定位 放射線 療法	小線源 治療	光線力 学療法			治療内容	治療実績	医師の 専門 分野
1 呼吸器内科	3	3	×	×	○	○	×	×	×	Ⅲ期の局所進行肺がんに対しては放射線科・外科との連携で combined modality treatment を行ないます。Ⅳ期の症例は化学療法の適応となります。最近、効果が優れた、副作用も制御しやすい新しい抗がん剤が登場してきており患者さんに優しい治療を提供しております。	ア http://www.otemae.gr.jp/treatment/kokyuki-n/ イ http://	掲載あり	掲載なし	掲載あり
2 呼吸器外科	1	1	○	○	×	×	×	×	×	肺がんに対しては胸腔鏡補助下肺葉切除＋リンパ節郭清術を標準術式としています。CT検診等で検出された悪性度の低い初期段階の肺腺癌に対しては、小切開(1センチ程度)3箇所での低侵襲な胸腔鏡下肺部分切除術も行っています。	ア http://www.otemae.gr.jp/treatment/kokyuki-g/ イ http://	掲載あり	掲載なし	掲載あり
3			状況								ア http://			
			実績								イ http://			
4			状況								ア http://			
			実績								イ http://			
5			状況								ア http://			
			実績								イ http://			

昨年の治療実績ありの疾患名 ※平成25年1月1日～12月31日	例: 肺がん 原発性肺がん、転移性肺がん
------------------------------------	-------------------------